

事業 165	補助金 の名称	森林整備地域活動支援交付金事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82-1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	林業費
	施策名(節)	第2節 森林の育成と林業の振興						目	林業振興費
補助期間		平成 19 年度 ~ 平成 23 年度							
根拠法令・要綱等									

事業 目的	対象 (交付先)	林業事業者等で、当該事業について市長と協定を締結した者						
	意図 (補助目的)	森林施業の集約化が進み、森林整備が促進されること						
事業 内容	手段 (主な活動)	・既に森林施業計画が作成されている一定の要件を満たす民有林において、計画作成主体が「施業実施区域の明確化作業」や「歩道の整備等」を行った場合に補助を実施。						
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	境界明確化面積	ha	2	2	2	100.0
	作業路整備延長	km	28.21	28.35	28.35	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	1,290 千円	(金額)	1,290 千円	(金額)	1,290 千円	
	(件数)	2 件	(件数)	2 件	(件数)	2 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	「施業実施区域の明確化作業」や「歩道の整備等」を行った場合5,000円/ha (国1/2、県1/4、市1/4)				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	森林施業に必要な境界明確化作業や歩道の整備に補助することは、妥当である。
有効性	4	相続等により所有者が替わり境界が不明となり、森林施業が困難となるケースがあるので、当該事業は有効である。
効率性	4	森林施業を実施する森林組合や森林公社への補助であり効率的である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	平成23年度で事業が終了するが、このような事業は今後とも必要